

市内で人気の教室 健康体操が今年も開催

今年も福祉館で健康体操が始まりました。年に48回、毎週火曜日に開催されます。健康体操は、ヨガのストレッチやチューブを使った体操など自分のペースに合わせて参加できます。参加者の中には、10年以上続けて参加する人もいる人気の教室。参加者は「健康体操に行くと体も心もスッキリします」と話しました。



北吉井小学校の放課後のひととき 放課後わくわく教室が開催

北吉井小学校では、学校・家庭・地域連携推進事業（主催：市生涯学習課）で毎週月曜日、放課後に活動しています。この日は、1年生～3年生までの児童が参加し、東温市民劇団の皆さんを講師に招いて、数種類のゲームを楽しみました。子どもたちは初めてするゲームに目を輝かせながら、放課後のひとときを楽しみました。



和田丸の皆さんから教わる



高木利弥選手と一緒に



森脇良太選手と話しながら

Interview



あきら
 （左から）新保 明 さん（志津川）
 たかし
 岡本 隆 さん（志津川南）

ロープワークは今日何度か練習をして、数種類の結び方を覚えることができました。有事の時に活用できるよう、地元の防災訓練などで住民の人たちにも知らせていきたいと思います。



出水期の災害に備えて 水防工法訓練で防災を学ぶ

市内で2年ぶりの水防工法訓練がありました。雨が多くなる出水期に備え、水防工法の基礎を学びました。消防団や市内事業所、自主防災組織など約200人が参加しました。参加者は、ロープワーク、土



のうの作成、シート張りなどを真剣な表情で行いました。訓練にあたって副市長は、「災害は必ずやってくるとの認識をもち、日頃から備えを十分にしておきましょう」と話しました。



美味しいお米を心待ちに

西谷小学校で田植え体験授業 みんなで植えた苗、大きくなあれ

西谷小学校で愛媛 FC の東温市応援選手の森脇良太選手、高木利弥選手が田植えを行いました。

講師を務めたのは KOMEYA 和田丸の皆さん。「米作りの88の手間の初めの行程。丁寧

に植えていきましょう」と話しました。子どもたちは、愛媛 FC の選手や和田丸の皆さんと協力して苗を植えました。秋には稲の収穫があります。おいしいもち米ができるように丁寧に植えていきました。

Interview



西谷小学校
 5年生 大森 紫温 さん（写真左）
 しおん

汚れた分だけ頑張った

愛媛 FC の選手と一緒に植えられて楽しかったです。たくさん植えたので泥だらけになりました。去年より上手に植えることができてよかったです。

人命救助のスペシャリストが競う 消防救助技術大会選考会が開催

東温市消防本部で消防救助技術四国地区指導会（県大会）に向けた選手選考会が6月20日に行われました。出場チームは3人1組の4チーム。スピードや正確性などを競いました。日頃の訓練で積み重ねた練習の成果を発揮すべく、選手らは気迫に満ちた表情でベストタイムを目指しました。優勝したチームは7月の県大会に出場します。



市内の浄水場や浄化センターで学ぶ この水、どこからくるの？

拝志小学校の4年生の皆さんが社会科の学習の一貫で南吉井浄水場と重信浄化センターを見学しました。私たちの生活に欠かせない水。子どもたちは普段見ることのない水のろ過装置をじっくり見たり、浄化される前の汚水の匂いに驚く姿が見られました。子どもたちは水が循環する過程を熱心に学びました。



さくらこども館からバスに乗れる！？ 初めてのバス体験

伊予鉄バス(株)による子どもたちのバス乗車体験がさくらこども館で開催されました。バスの乗り方を学び、特設のバス停から乗車。参加した子どもたちは初めて乗るバスに喜び、ボタンを押して乗車を楽しみました。参加した保護者は「小さな子どもと一緒に乗ってもいいと知ったので、今度乗ってみようと思います」と笑顔で話しました。



医学部生の笑顔弾ける 愛媛大学医学部音楽まつりが開催

「愛媛大学医学部音楽まつり」が開催されました。例年医学部では、大学祭が5月に開催されていましたが、2年前よりコロナ禍で開催が見送られていました。今年は体育館でダンス部や軽音部など

の部活が日頃の活動の成果を披露する機会が与えられ、ステージに立った学生は「コロナ禍で、イベントの機会がほとんどなかったのがこのよう形で開催できて嬉しい」と涙を浮かべました。

親子で星空を見上げて過ごすひととき 星空観察会 in 滑川清流の森

5月29日、滑川野外活動研修施設なめがわ清流の森で大人と子どものふれあい広場「星空観察会」（主催：市生涯学習課）が開催されました。満天の星空の下、親子32人が参加。春の大三角や春のダイヤモンドなど夜空に浮かぶ星を見上げてゆったりとした親子の時間を過ごしました。次回は9月開催予定です。



消防団員日頃の成果を発揮 第9回消防操法大会が開催

「消防操法大会」が3年ぶりに行われました。市内の消防団5分団が参加し、迅速さや適切さなど消防技術を競い合いました。優勝した第2分団の団長は「優勝できたのは、選手はもちろん、サポートしてもらった団員のおかげ。皆さんの支えが力になりました」と話しました。優勝した第2分団は8月の県大会へ出場する予定です。

利用者の自立を目指す新しい形 東温市にフードバンクがオープン

会員制のフードバンク「ソーシャルスーパーマーケット東温」が6月20日に横河原駅前にオープンしました。賞味期限の近い物、買いすぎた物など協力店舗に設置されたBOXに提供された商品が並んでいます。ソーシャルスーパーマーケット東温の代表山瀬麻里絵さんは「市内の人たちに知っていただき、必要な人に届いてほしい」と話しました。



稲を害虫から守る 田窪の隻手薬師で虫送り

6月18日、田窪地区の隻手薬師で虫送りが行われました。稲の生育を害虫から守るための行事で、夏の土用の時期に行われます。寺での行事が終わった後、害虫から守る札を区域内の8箇所に立てていきました。参加者は「虫送りは他の地域ではなくなったので今は珍しい。参加できて良い機会になりました」と話しました。

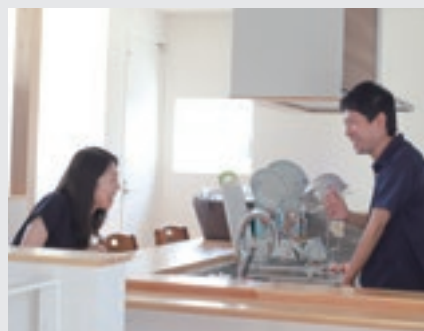


井内の棚田でみんな一緒に 愛媛 FC レディース選手と田植え

愛媛 FC レディースの選手と棚田ファンクラブの皆さんが井内地区で田植えを行いました。地元の人から教わりながら田んぼ3段分を約50人ほどが協力して植えていきます。晴天での田植えでしたが、水の心地よさに参加者は驚いていました。田植えをした後は井内産の米を使ったおにぎりが振る舞われ、参加者は勢いよく頬張りしました。



Interview



お試し移住者 **高橋 光太郎** さん
 絵里 さん

お試し期間中は、奥松瀬川の螢を見に行ったり、マルシェに行ったりしました。市内の人たちが景色やイベント情報を教えてくれたり、受け入れてくださったことが何より嬉しかったです。



市内移住希望者がお試し移住 移住体験住宅第一弾を終えて

移住体験住宅の第一弾で入居していた人が移住体験を終了しました。移住体験住宅は、市内に移住を考えている人が最長2カ月間お試しで住むことができる住宅です。今回利用したのは地方移住を検討し

ているという高橋さん夫婦。移住期間中は、さまざまな場所に出掛けたり、地域の人たちとの交流を楽しんだそうです。今後も、移住体験住宅は市内への移住を考える人たちの受け入れを予定しています。



上林小学校 e-program 年輪から語りかけること

これからの環境について考える「とうおん e-program」の授業が上林小学校で行われました。講師は愛媛大学教授の小林 修 先生。世界で一番長い木を VR で見たり、輪切りの木の年輪を虫眼鏡で観察



したりしました。年輪を見ると、その時の天気が分かることや木が伐採されると環境に悪影響が起こることなど実際に体験しながら学ぶことができ、子どもたちは目を輝かせていました。

Interview



上林小学校 6年生 **倉橋 慧迅** さん

年輪をよく見ると

今まで木の年輪をちゃんと見たことはありませんでしたが、虫眼鏡で見ると水の通る穴があり、じっくり見ると面白かったです。年輪を見ると昔の天気が分かることも勉強になりました。